

那覇市立病院

症例番号4

- 1、採取検体
腹水
- 2、年齢・性別
70歳代 女性
- 3、臨床所見
健診で下腹部の腫瘍が指摘され、精査目的で当院紹介。
- 4、標本作製方法
引きガラス法、すり合わせ法

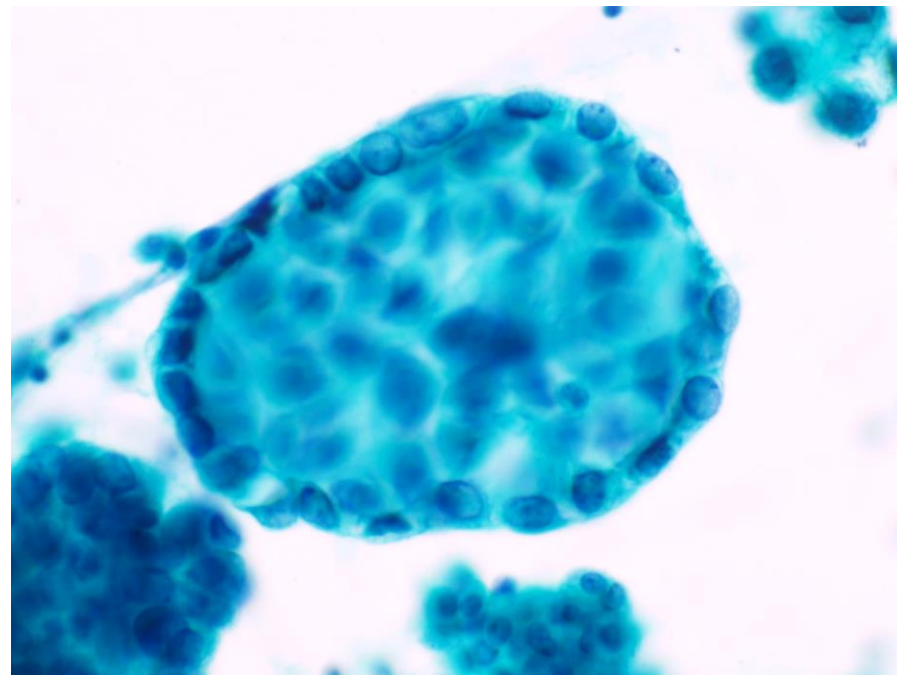
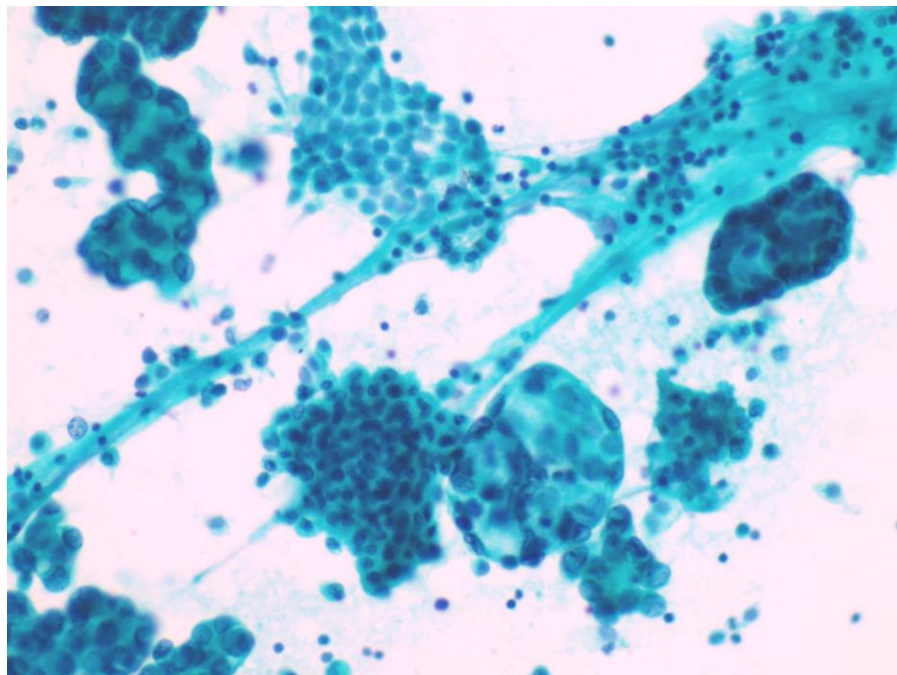
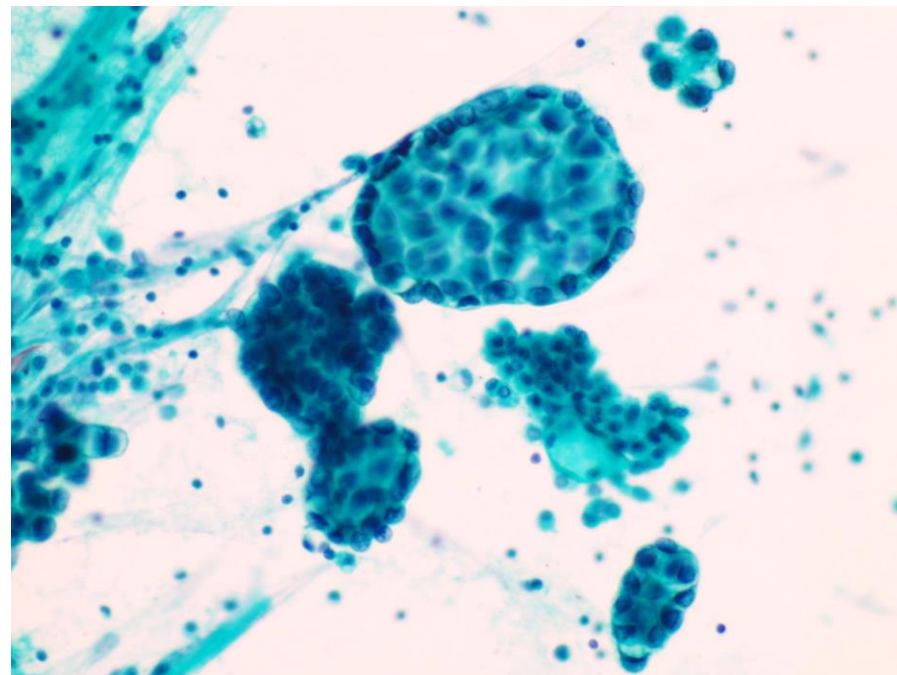
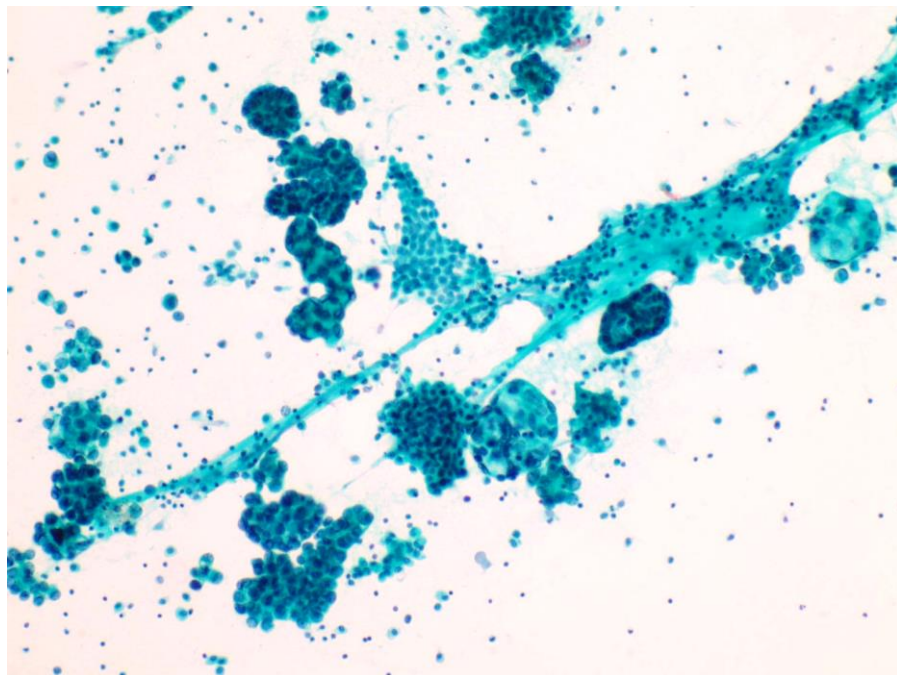
細胞診: ①/④

Pap × 10

Pap × 20

Pap × 20

Pap × 40



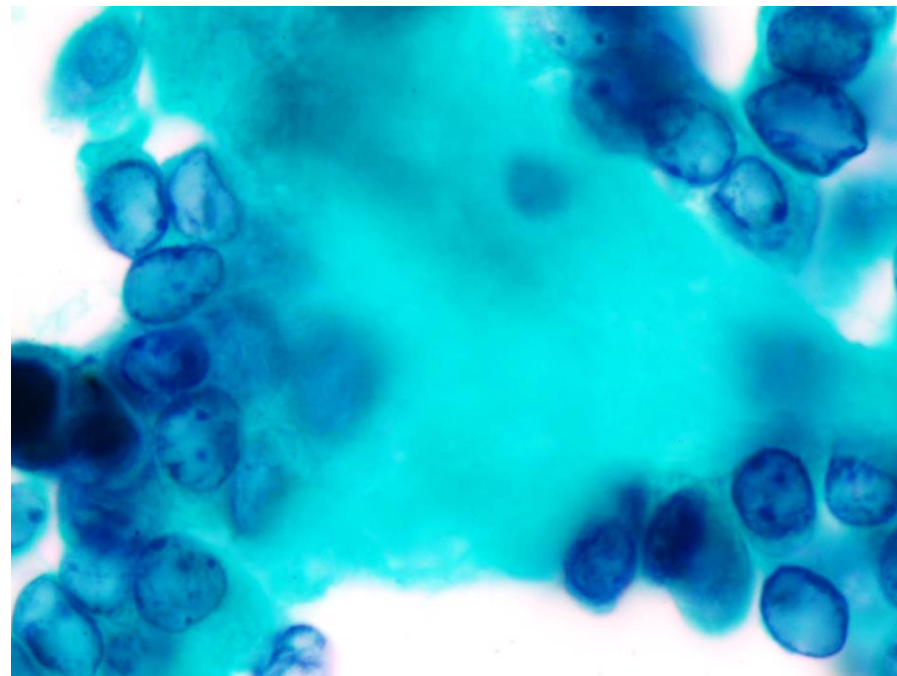
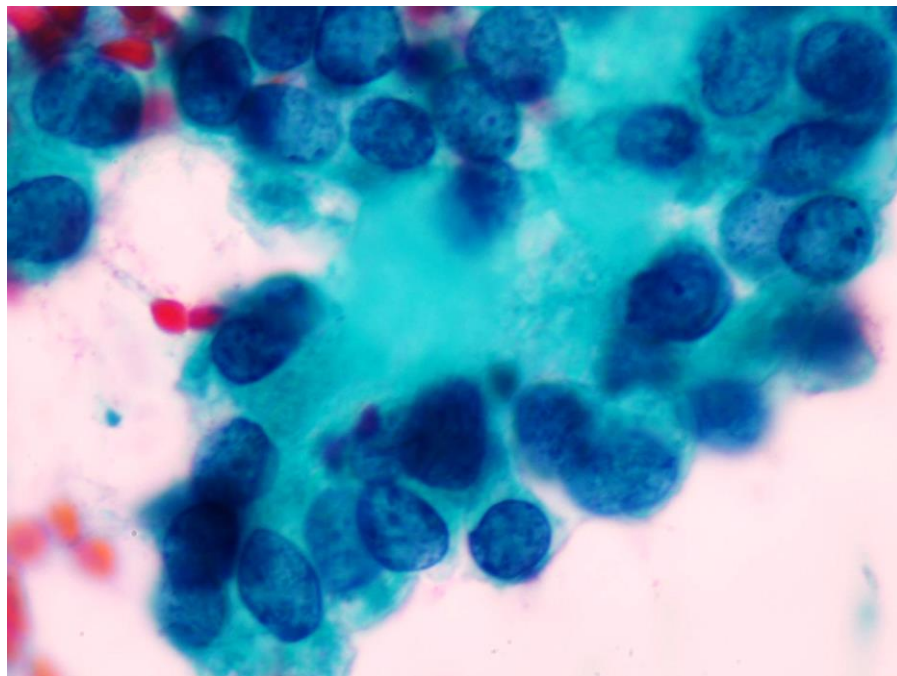
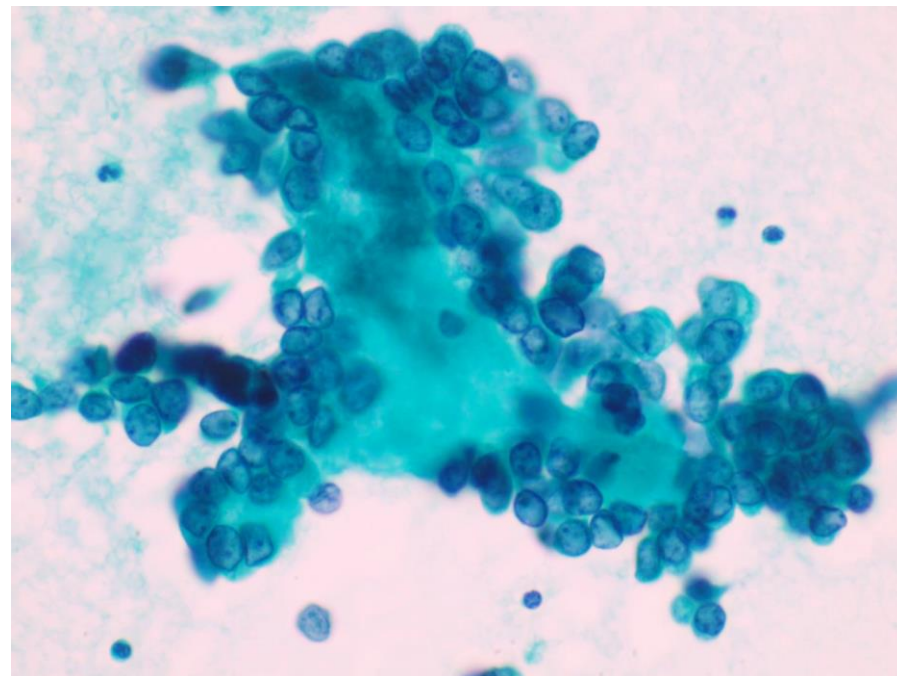
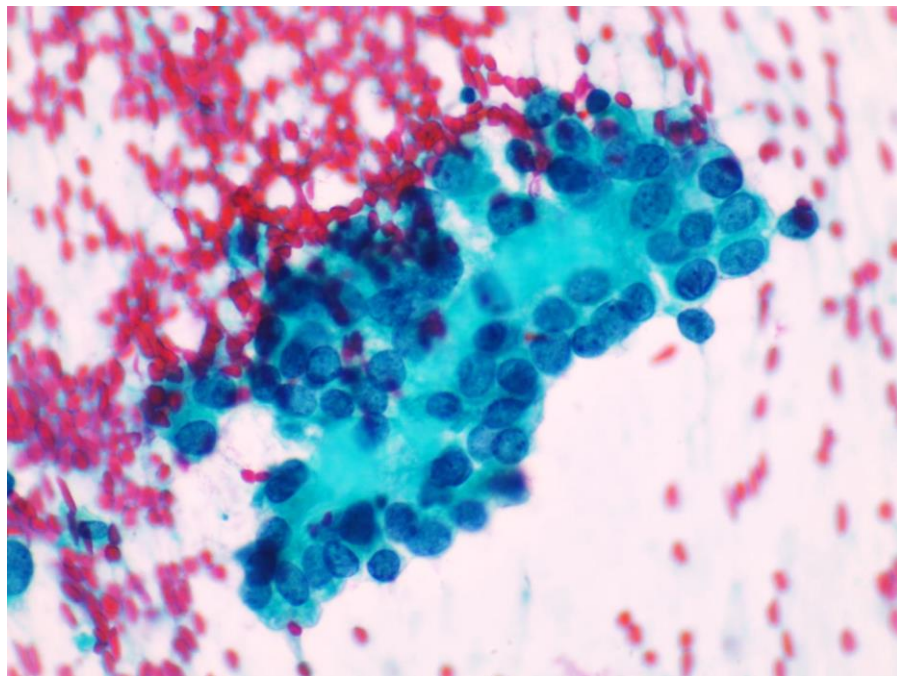
細胞診: ②/④

Pap × 40

Pap × 40

Pap × 100

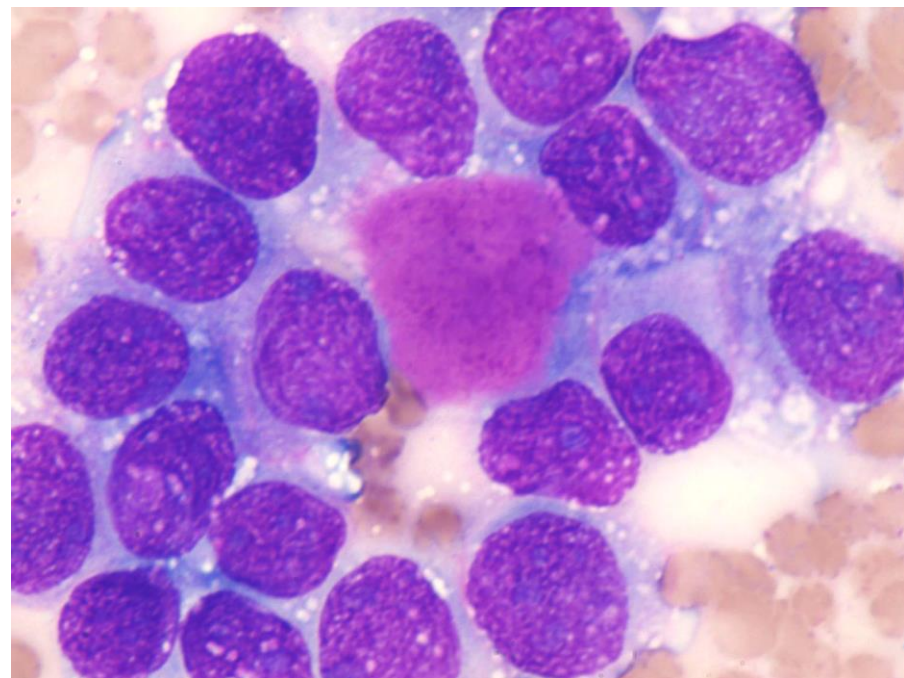
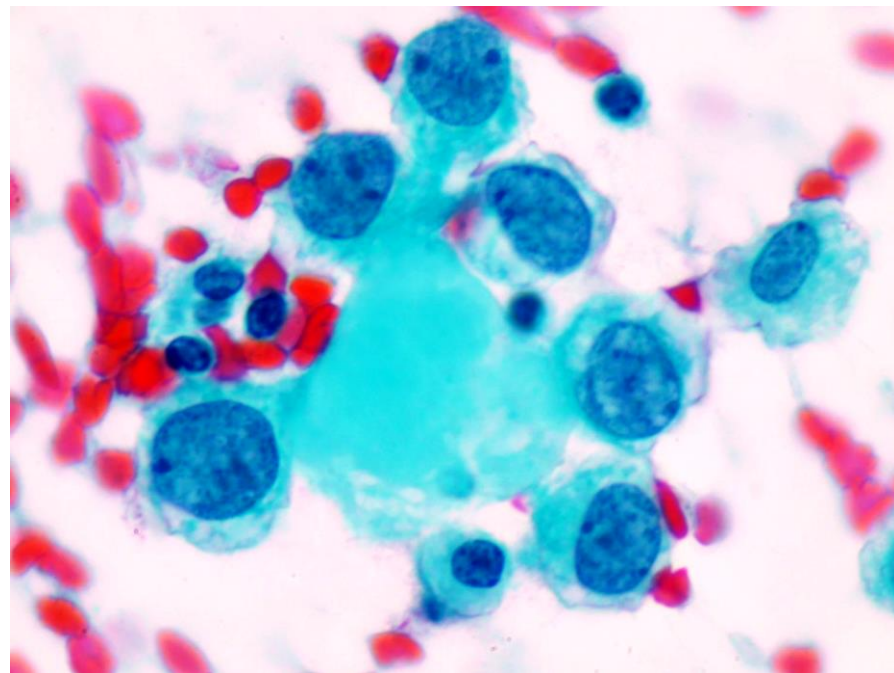
Pap × 100



細胞診: ③/④

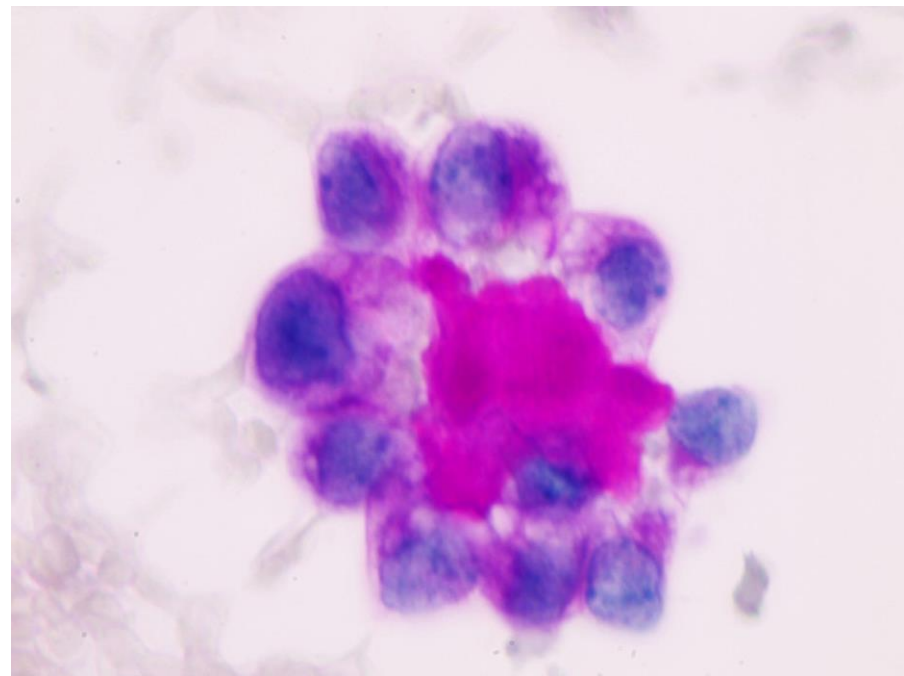
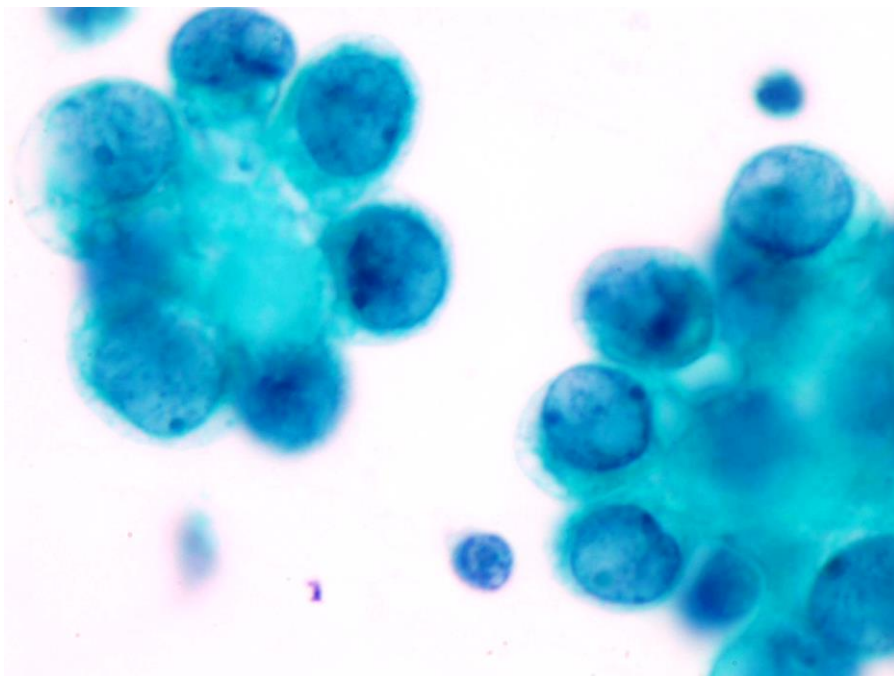
Pap × 100

Gim × 100



Pap × 100

PAS × 100



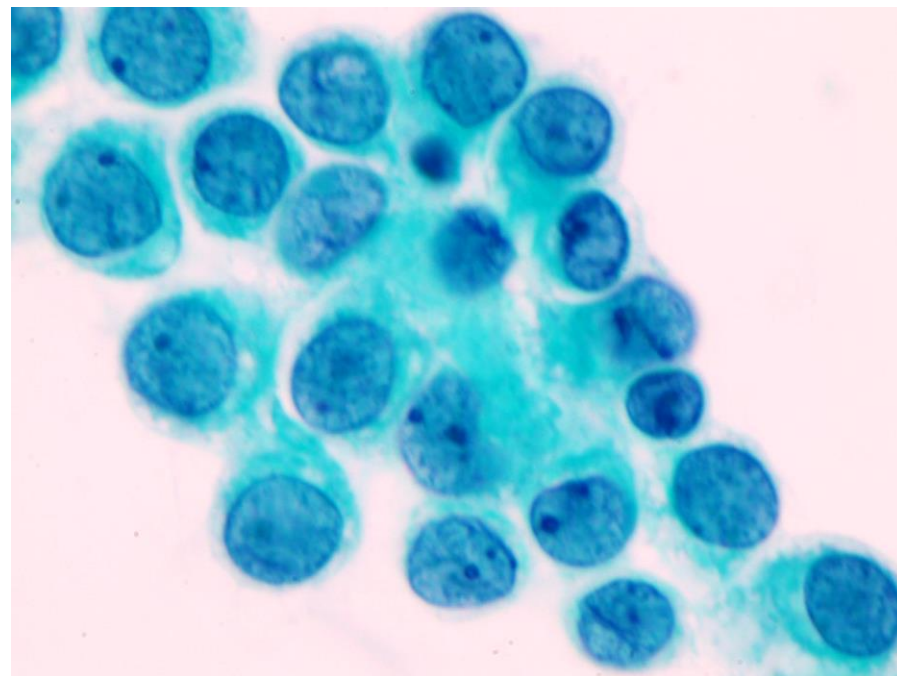
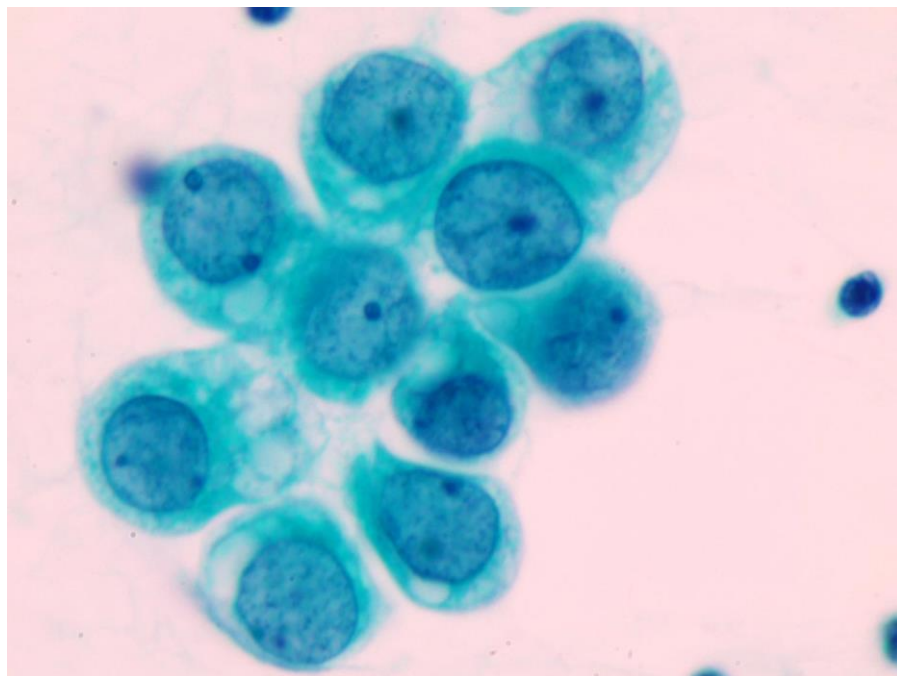
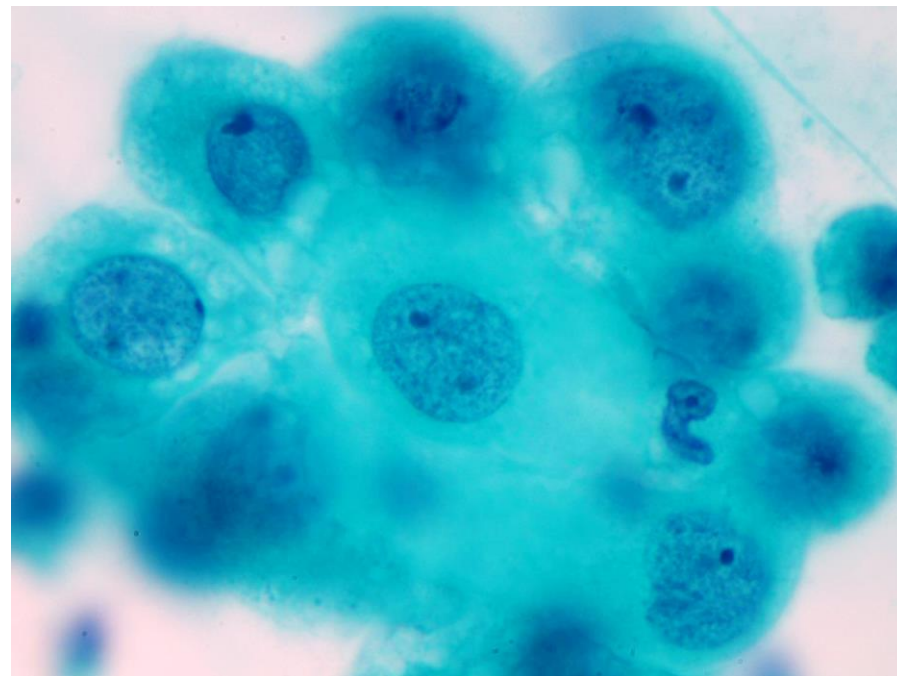
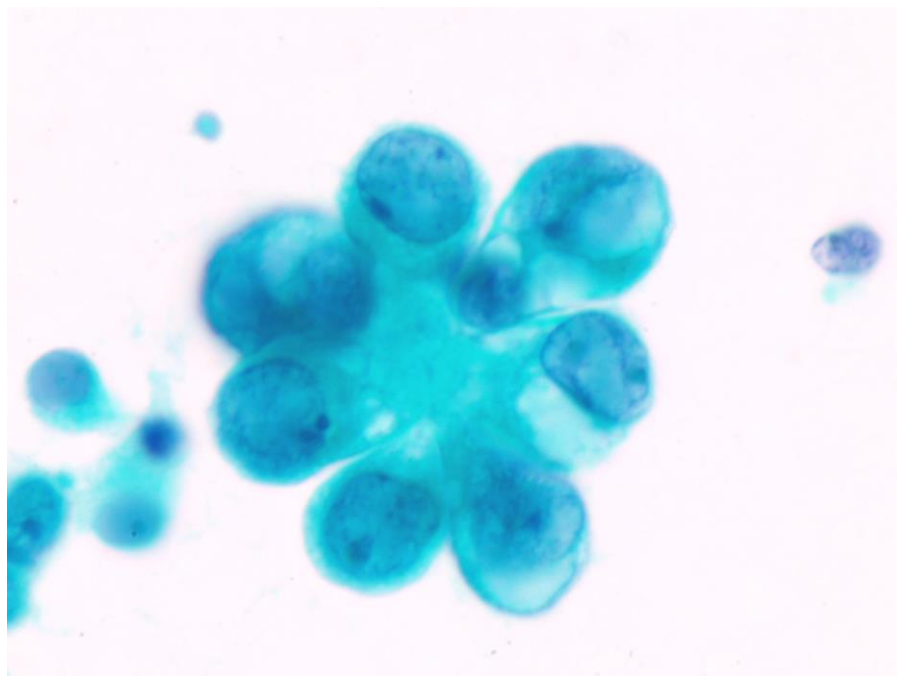
細胞診: ④/④

Pap × 100

Pap × 100

Pap × 100

Pap × 100



選択肢

1. 中皮細胞(静止期)
2. 漿液性癌(卵巣)
3. 粘液性癌(卵巣)
4. 明細胞癌(卵巣)
5. 中皮腫
6. その他

臨床所見

【検査目的】前医の単純CTで巨大腹部腫瘍がみられ当院紹介。卵巣Ca疑い。

【画像所見】骨盤内正中に11x12x13cmの嚢胞性腫瘍を認める。腫瘍壁在には多数の不整な結節を認め、一部壁外にも膨隆している。両側付属器とも明瞭ではないが、腫瘍右背側に萎縮した卵巣らしき構造認め、左側ははっきりしないことから左卵巣由来の嚢胞腺癌を疑う。右骨盤壁には播種も疑われる。

子宮は腫瘍により下方に圧排されている。子宮筋層への浸潤ははっきりしない。

撮像範囲のリンパ節に有意な腫大は指摘できない。

診断左卵巣由来嚢胞腺癌疑い

腹膜播種疑い

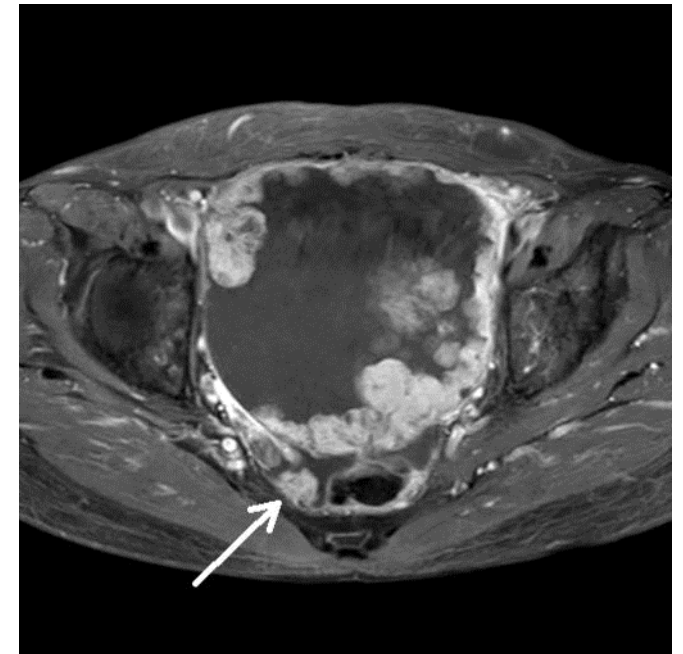
【生化学的検査】

(腫瘍マーカー)

CA19-9: 25.7 U/ml

CA125: **40000 U/ml**

HE4: 92 pmol/l



細胞診断

【悪性】

腹水:

背景にライトグリーン好性の無構造物質がみられる。重積のある球状から乳頭状集塊、腺管状の集塊で多数の異型細胞が出現している。異型細胞は、集塊内に無構造の基底膜様物質がみられ、ギムザ染色で異染性(メタクロマジー)を示し、PAS染色で陽性を呈することからcollagenous stromaが示唆される。また、ホブネイル状の細胞もみられることから卵巣の明細胞癌に矛盾しない細胞所見を呈する。

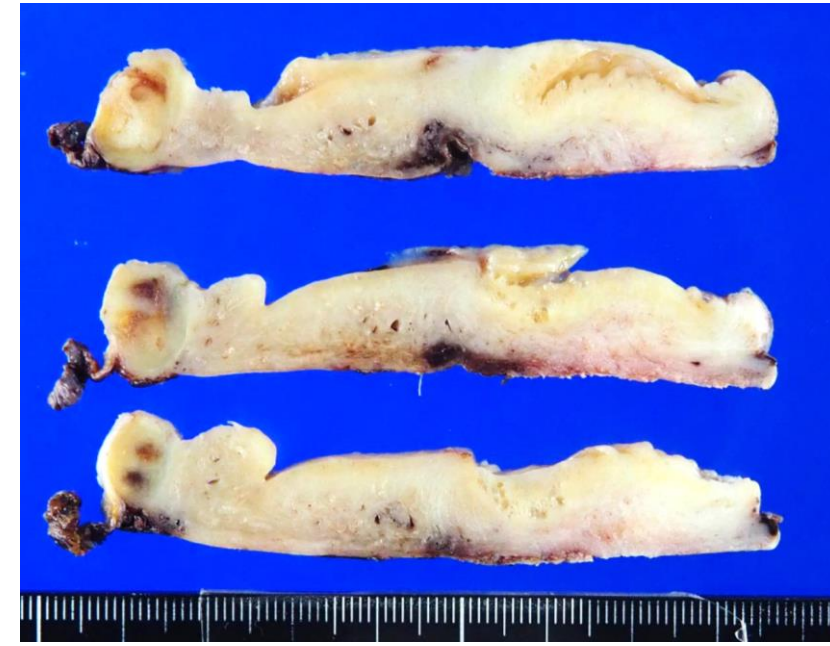
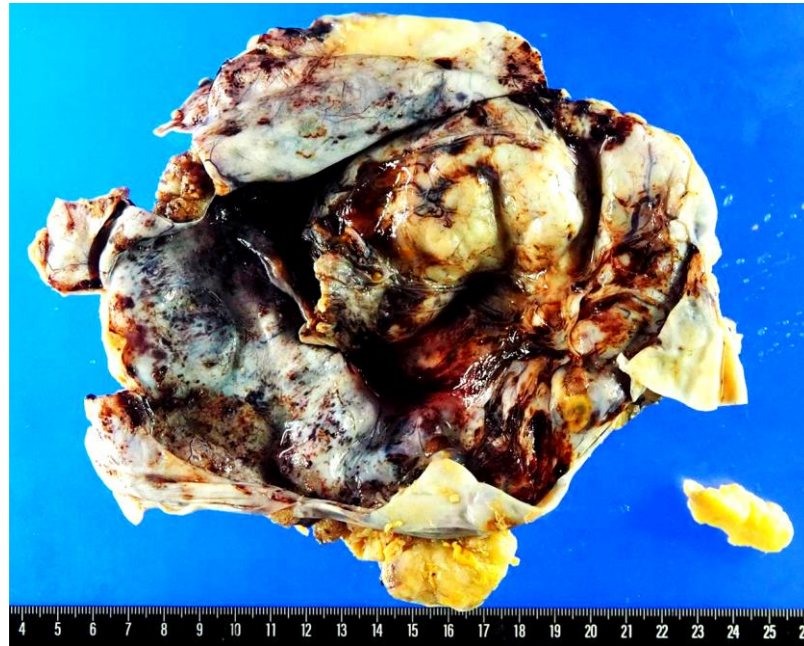
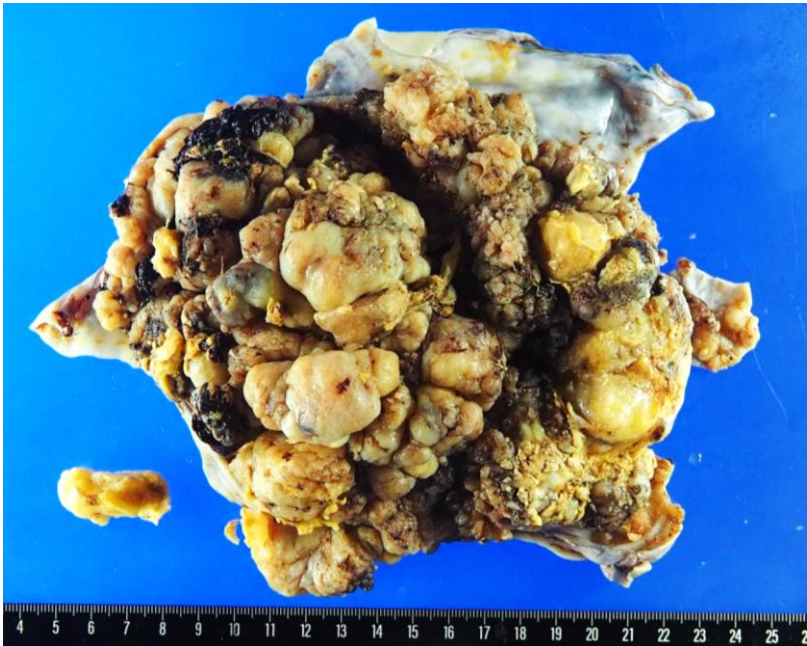
組織診断

【手術後提出臓器】

左卵巣(左卵管)、右卵巣(右卵管)、子宮、大網、ダグラス窩腫瘍

【肉眼所見】

肉眼的には左卵巣病変は直径15 cm(推定)の単房性嚢胞で、割を入れると内腔のほぼ全面に壊死を伴う淡褐色の結節が密に見られた。病変は卵巣表面に露出はしておらず、左卵管は正常であった。



組織診断

【診断】

Ovary, left, oophorectomy: Clear cell carcinoma, pT2a

Uterus, hysterectomy: Metastatic carcinoma

Peritoneum, Douglas' pouch, biopsy: Metastatic carcinoma

Fallopian tube, left, salpingectomy: Unremarkable

Ovary and fallopian tube, right, salpingo-oophorectomy: No malignancy

Omentum, omentectomy: No malignancy

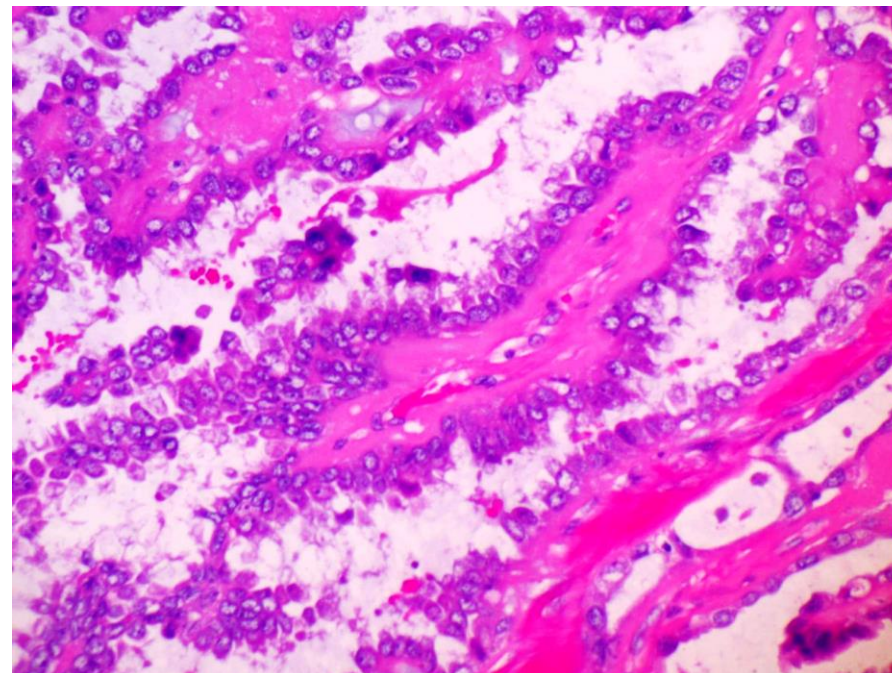
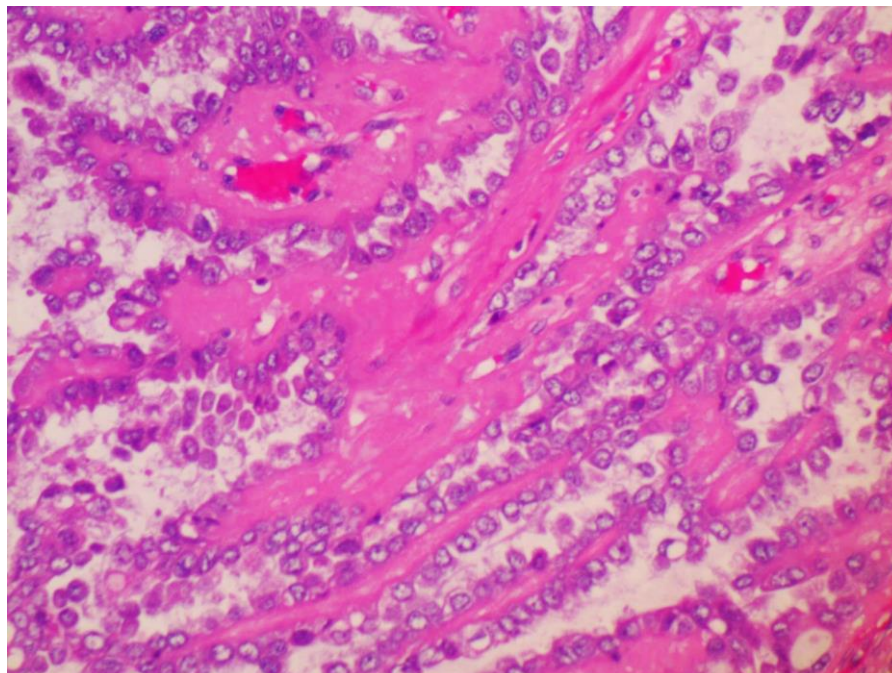
【所見】

組織学的には不整形の核を持つ立方状のcancer cellが、硝子化基質を伴い腺管状あるいは乳頭状に増殖している。ダグラス窩の生検は2検体とも播種である。子宮底部の筋層内に直径1.5 cmの境界明瞭な淡褐色腫瘍が見られ、組織学的には左卵巣からの転移である。別に内膜ポリープ(直径1 cm)が見られる。右卵巣には卵管内膜症が見られる。大網には播種は見られない。

組織診: ①/①

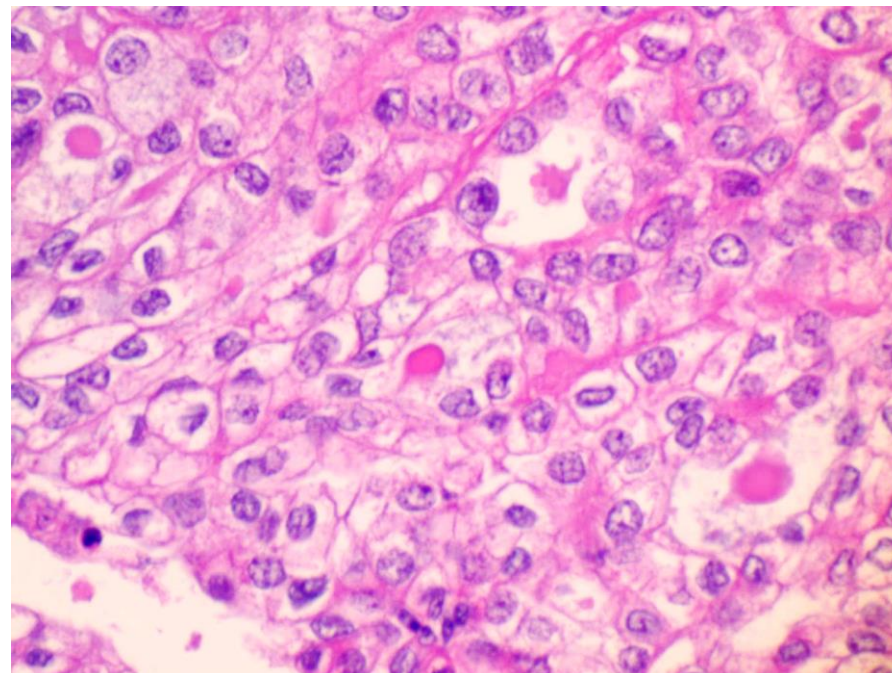
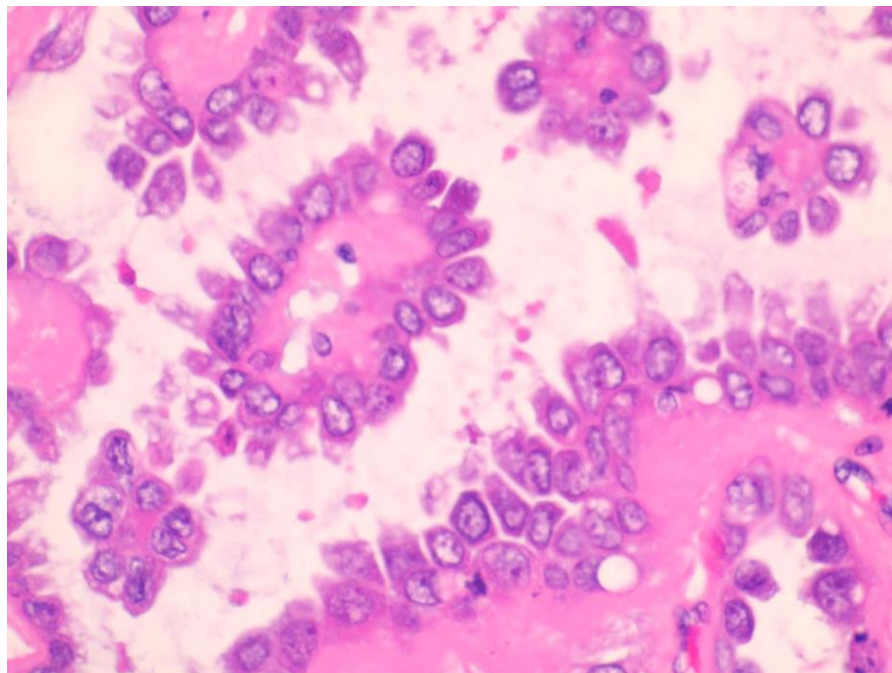
HE × 20

HE × 20



HE × 40

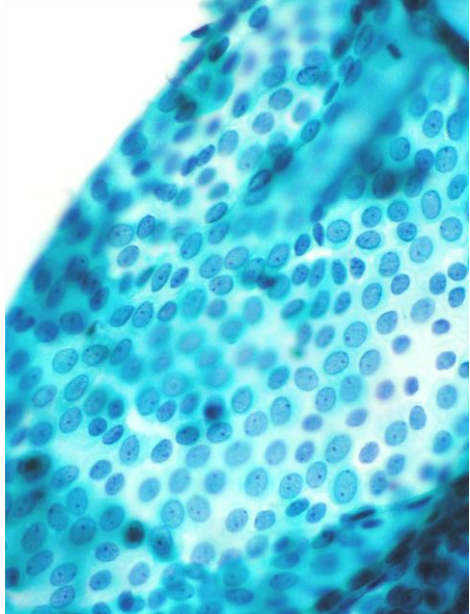
HE × 40



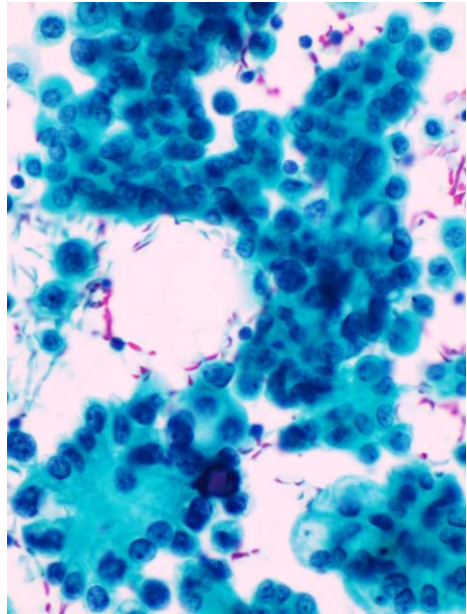
解答

1. 中皮細胞(静止期)
2. 漿液性癌(卵巢)
3. 粘液性癌(卵巢)
4. 明細胞癌(卵巢)
5. 中皮腫
6. その他

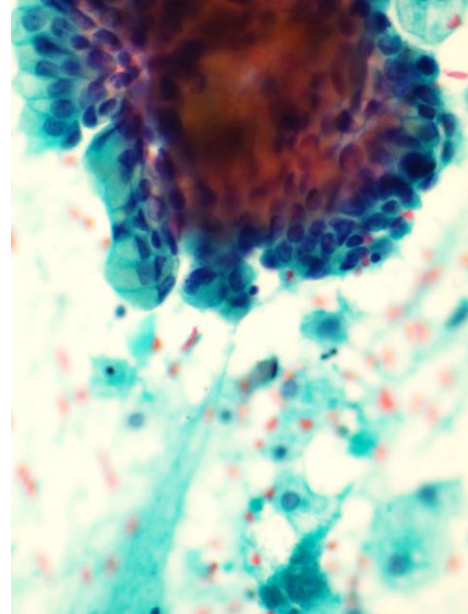
鑑別診斷



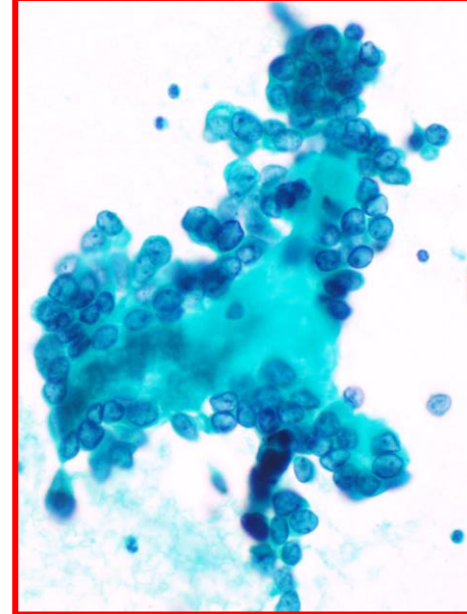
中皮細胞(静止期)



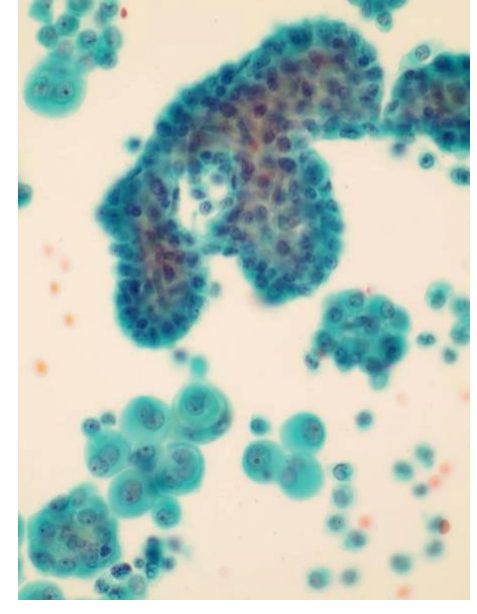
漿液性癌



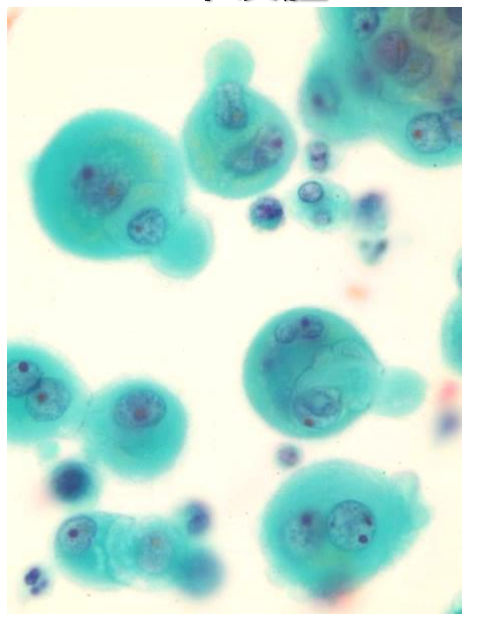
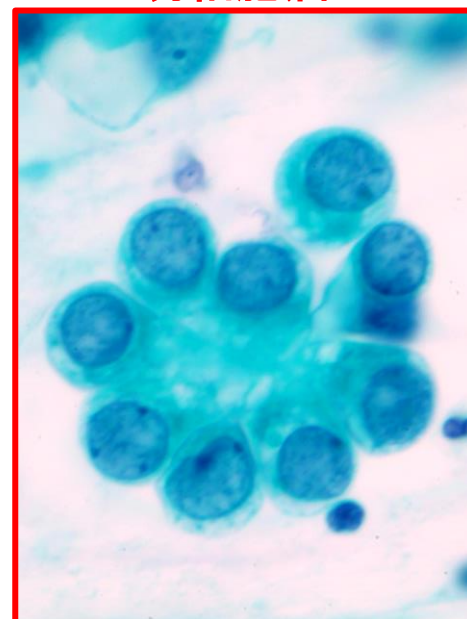
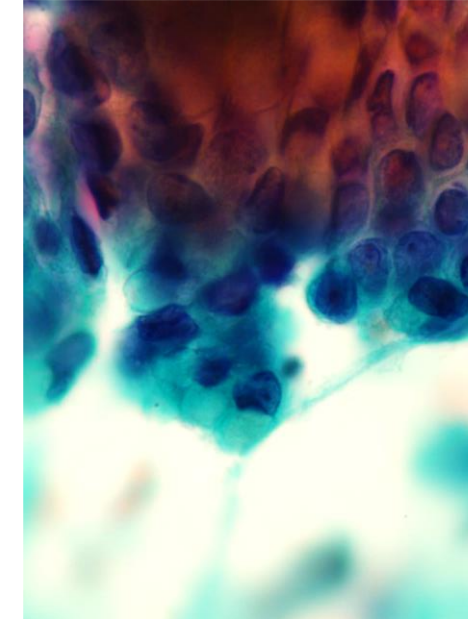
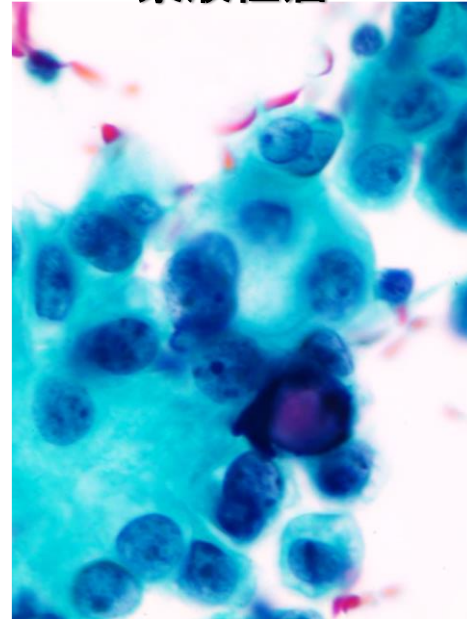
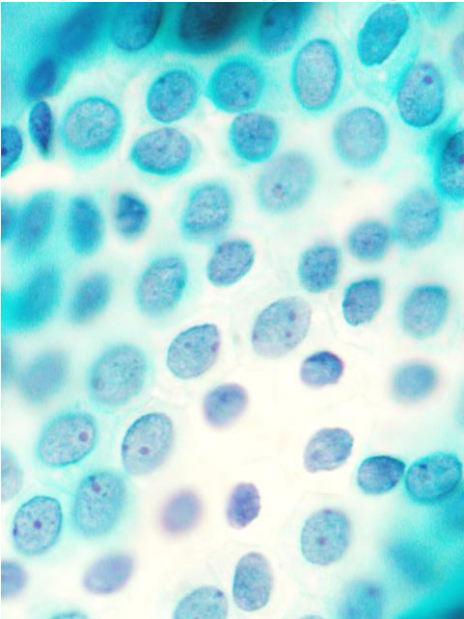
粘液性癌



明細胞癌

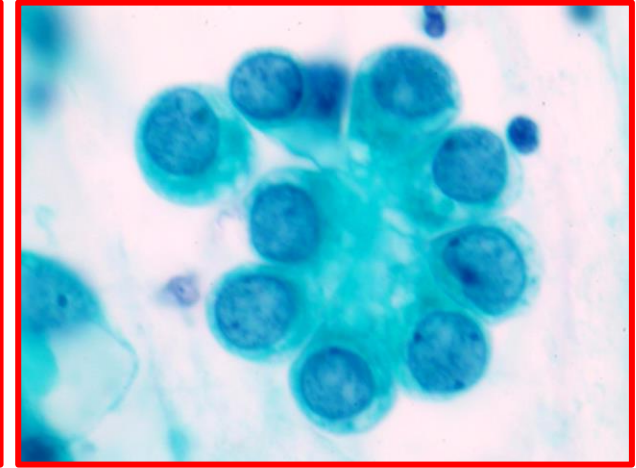
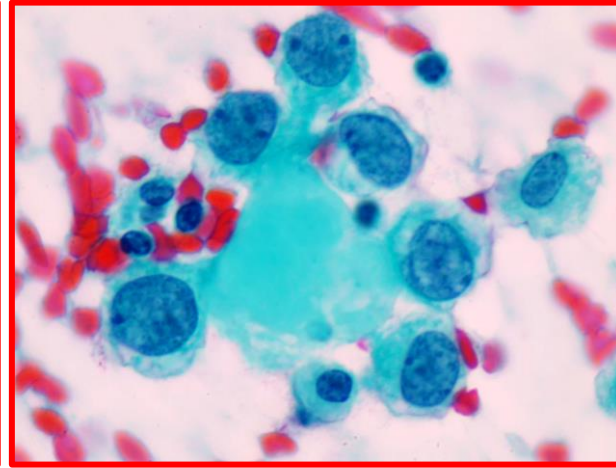
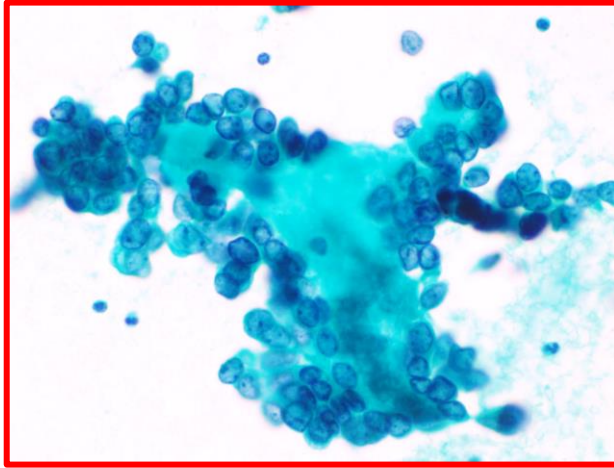
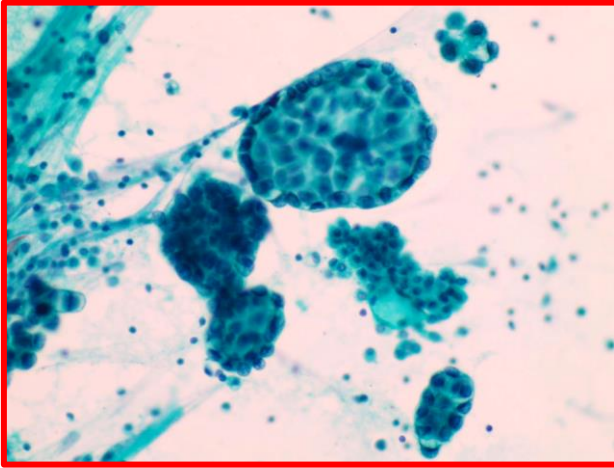


中皮腫

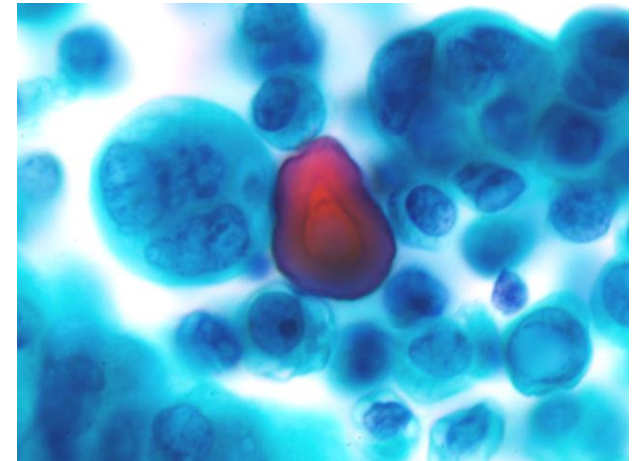
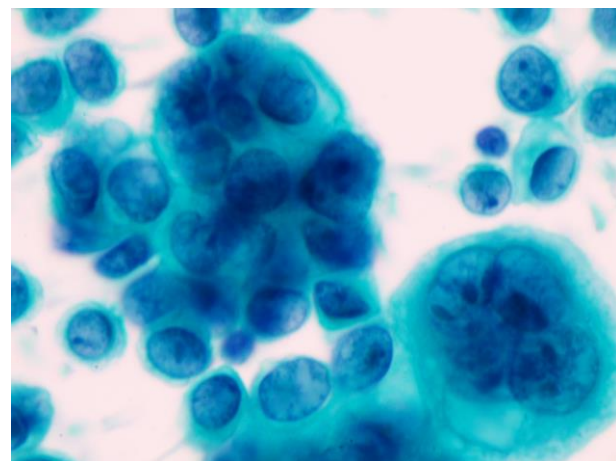
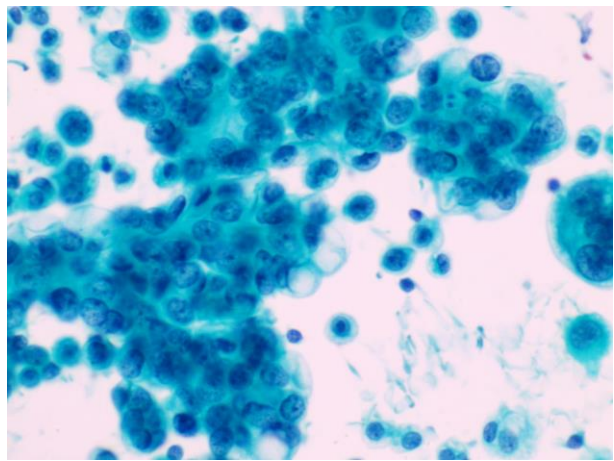
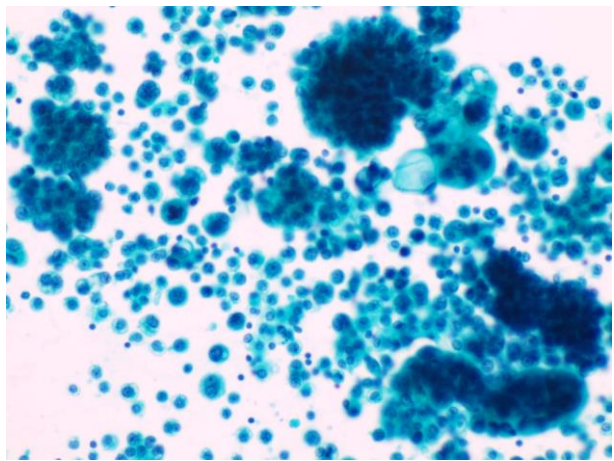


鑑別診斷

明細胞癌

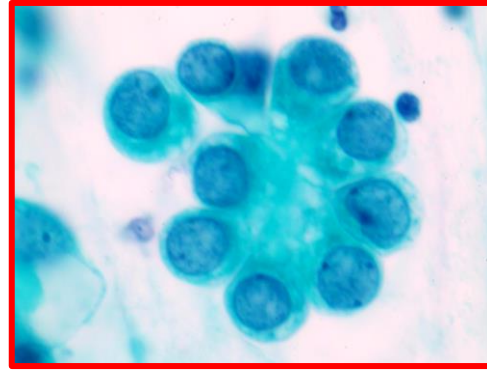
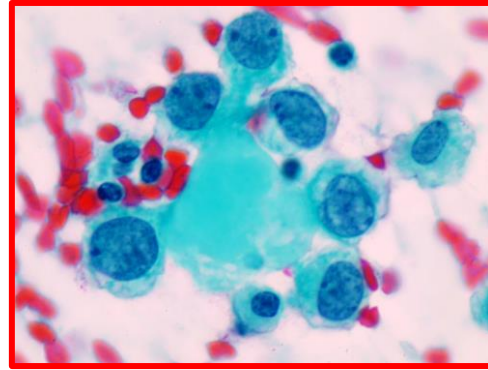
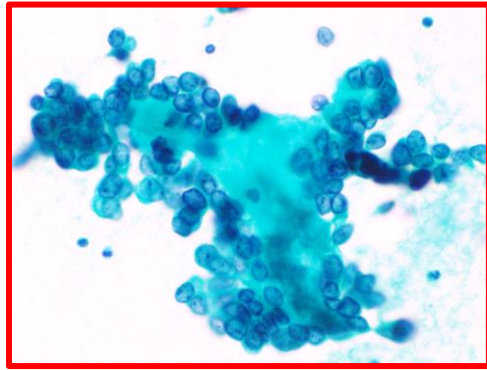
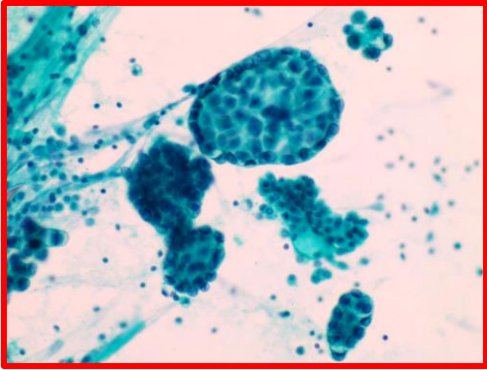


漿液性癌

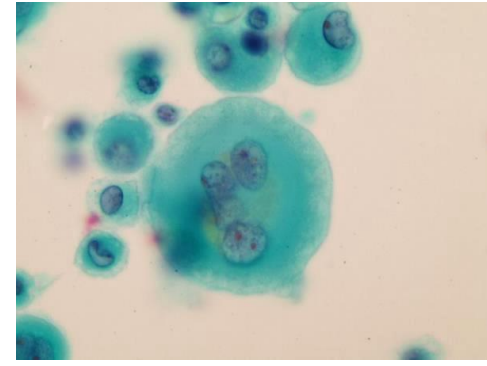
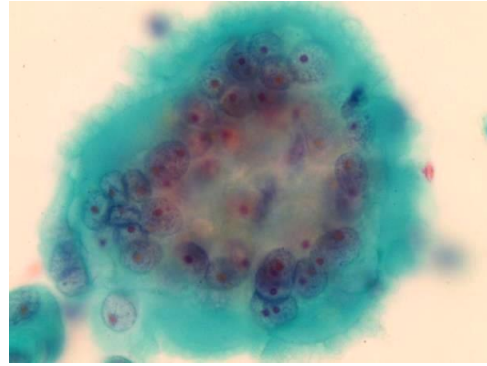
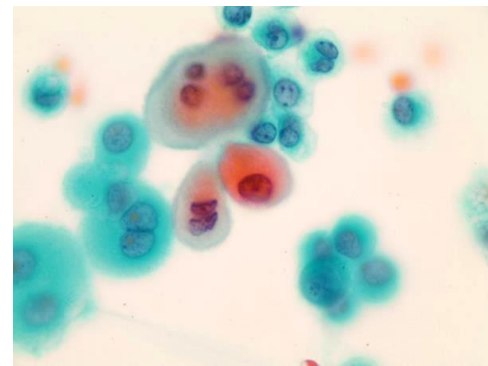
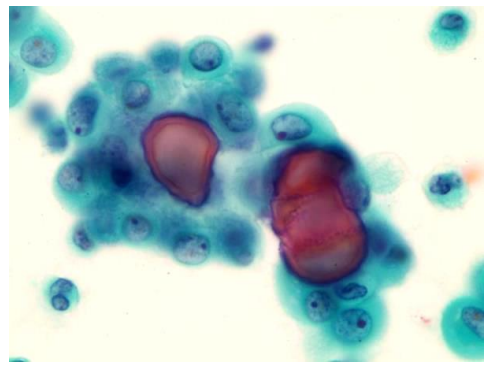
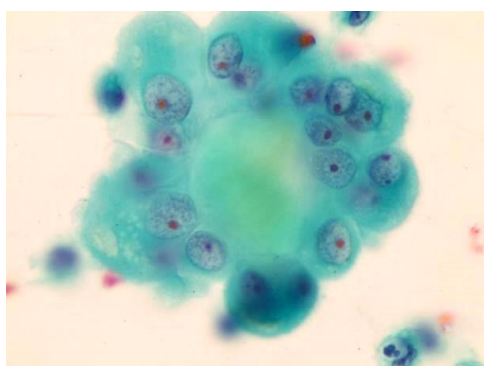
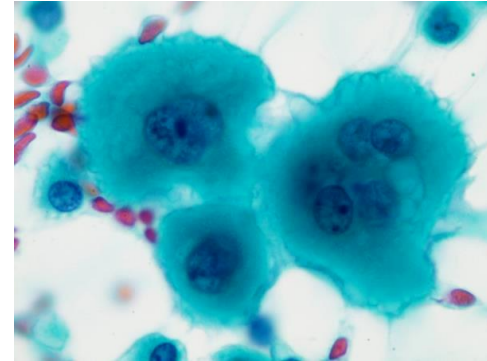
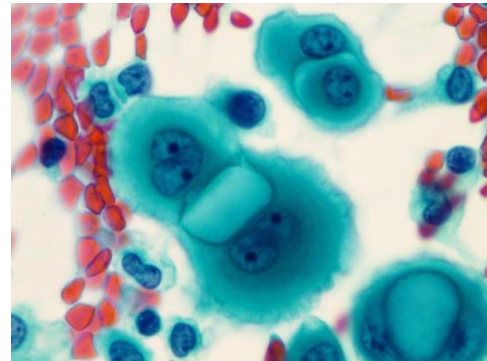
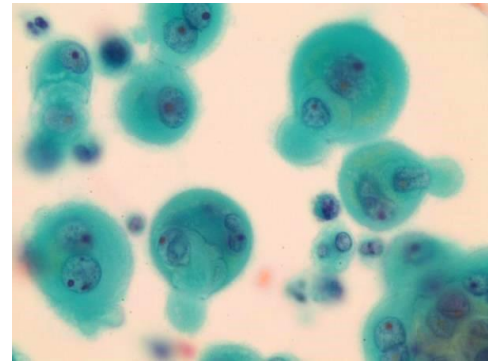
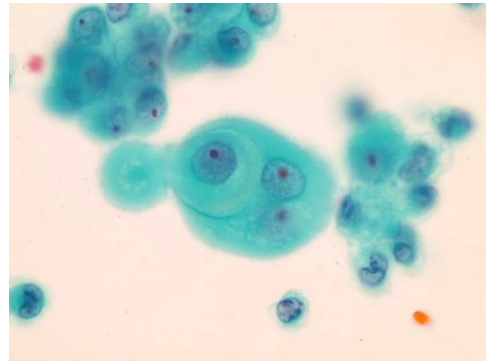
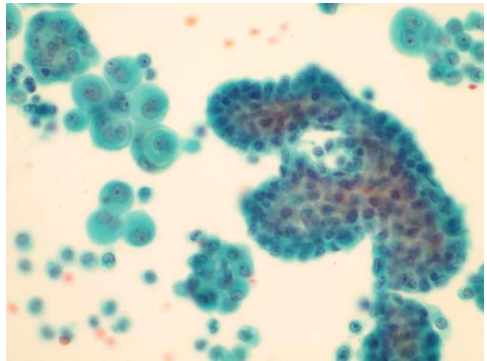


鑑別診斷

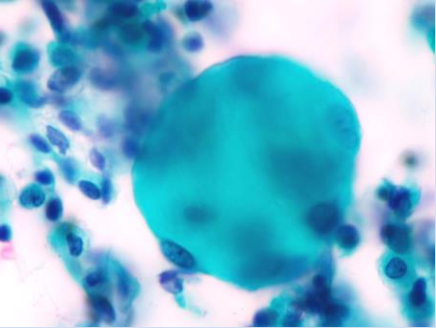
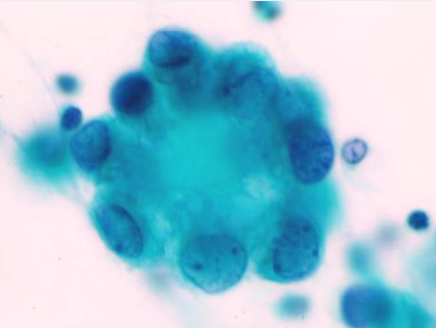
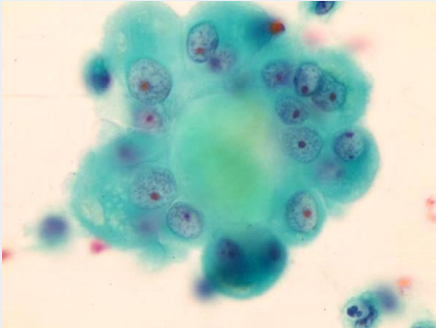
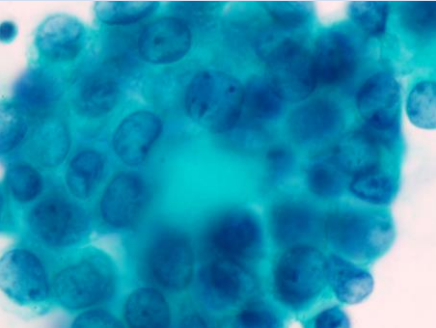
明細胞癌



中皮腫



鑑別診断

Collagenous stroma	定義	臨床的意義
I 型	Collagenous stromaの表面に菲薄で扁平な細胞を少数認める。	体腔内洗浄液 
II 型	Collagenous stromaの表面に1~2層の立方状細胞を認める。	明細胞癌(卵巣) 中皮腫  
III 型	Collagenous stromaの表面に3層以上の立方状細胞を認める。	中皮腫 反応性中皮細胞 

まとめ・ポイント

- 腹水にて卵巣原発の明細胞癌を経験した。背景や集塊内にCollagenous stromaがみられ、ホブネイル状の細胞や細胞質が明るいのが特徴である。
- 明細胞癌の鑑別診断として、漿液性癌や中皮腫があげられるが、漿液性癌は、細胞質が明るいのも多いが、核異型が強く砂粒体を伴ってくる。中皮腫は同じⅡ型のCollagenous stromaや出現パターンや類似してくる場合もあるが、中皮腫では、相互封入像、hump様突起、窓形成、細胞相接、オレンジG好性細胞、多核細胞、細胞辺縁の微絨毛、核の位置や異型性に乏しい点などから鑑別は可能である。
- Collagenous stroma に関しては、中皮腫と同じⅡ型が出現し、Collagenous stromaの表面に1～2層の立方状細胞がみられる。